

9月定例報告

市長総括説明から

8月29日、平成26年第3回市議会定例会が開会しました。最初に、市教育委員会事務局での事務処理誤りについて報告し、おわびしました。

その後①豪雨災害被災地の丹波市と福知山市への支援②水害サミット実行委員会発起人4市長連名による「災害時にトップがなすべきこと」11か条の全国市区町村長への送付③29会場で開催した「市民と市長の座談会」について報告し、当面する市政の諸課題ならびに提出議案の主なものについて説明しました。

その概要をお知らせします。
■安全に安心して暮らせるまち

台風23号10周年メモリアル事業

10月に、市・国・県の共催で「防災の集い」を開催します。第1部は台風23号をモチーフとした演劇、第2部は講演とパネルディスカッションを行い、

当時の被災状況や復興の様子の写真展も開催します。

防犯灯および道路照明のLED化

市管理の防犯灯や道路照明でLED化ができているのは全体の3・6%です。平成27年度からLED照明をリース方式で一斉に導入し、コストダウンを図ります。

高橋診療所医師の招聘

関東の医療法人と基本協定を締結し、診療所開設に向けて準備をしてきましたが、6月末に開業は困難との申し入れがあり、協定を白紙に戻しました。

引き続き後任医師招聘に努力します。

豊岡地域包括支援センターの民間委託

平成27年4月から民間事業者に委託することとし、事業者を公募しました。応募は豊岡市社会福祉協議会の1者だけ、地域包括支援センター運営協議会の審査を経て、委託先に決定しました。

市内の地域包括支援センター全体を管理・指導する統括業務は、引き続き市が行います。

民間老人福祉施設助成事業

本事業は、民間事業者の老人福祉施設整備費等を国が市を経由して補助する事業です。特定非営利活動法人銀ちゃんの家から地域支え合いセンターと高齢者グループリビングの整備について申し出がありました。国の内定を受け、

人と自然が共生するまち

コウノトリ野生復帰の推進

7月に第5回コウノトリ未来・国際かいぎを開催しました。テーマを「未来へ！野生復帰のすずめ」とし「コウノトリ野生復帰検証事業」の結果を一つの柱に、野生復帰と地域づくりの未来について議論を深めました。

かいぎには、秋篠宮殿下、眞子内親王殿下をお迎えし、ドイツや韓国からも参加がありました。国内外の関係者が手を携えてこの取組みを成し遂げていこうという流れが生まれました。

これを一つの区切りに、野生復帰の取組みをさらに深め、ネットワークを強化し、国内外での自然再生に貢献する新たなスタートを切ります。

北但ごみ処理施設整備事業

進入道路・敷地造成工事は、軟弱地盤対策、切土斜面崩壊対策等に時間を要し、4カ月遅れていました。さらに、想定外の残土が出て、敷地造成の地盤高を変える必要が生じ、工期限を12月25日に変更しました。

施設建設工事は、2カ月遅れで9月から土木建築工事に着手します。

海外戦略の推進

7月初めにフランス都市連合のフォーラムに招かれ、環境都市「豊岡エコバレー」の戦略についてプレゼンをし、高い評価をいただきました。また、20歳以上のフランス・香港在住者で訪日旅行に興味のある方などを対象に、旅行情報の入手先や予約方法、本市の観光資源の認知度や興

持続可能な「力」を高めるまち

味度等を調査しました。この結果を基に英語版ホームページを作成し、12月頃に実施するPR広告調査の結果を踏まえ、ホームページのコンテンツ等を改善していきます。

11月には、イギリスのロンドンで開催される世界最大規模の国際旅行見本市WTMとフランスのcolmールの旅行博SITVに出展します。

豊岡市ブランド認知度調査

京阪神在住の方を対象に「豊岡市ブランド認知度調査」をインターネット上で行いました。このデータを基に、各観光地の「競合」「強み」「ターゲット」などを分析し、戦略的に事業を展開していきます。

アンテナショップ

開設（東京都）から3年目の総売上高は2年目と比較して35%増加し、購入者数も2年目より39%増加しました。

玄武洞公園の整備

玄武洞公園前の県道のかさ上げに合わせて、園路内のスロープ設置、身体障害者用トイレ・駐車場整備、景色を楽しめるスペース設置などを行うため、玄武洞公園整備基本計画と基本設計を策定します。

○全但バス神鍋高原線「上限2000円バス」活性化運行

第2期社会実験の利用者数は目標乗車人員には達しませんでした。

しかし、運賃収入が減収となった一方で、沿線小中学生の通学費補助の支出は減額となり、市の財政全体で115万4千円の負担軽減になりました。また、この実験を通して、神鍋地域の皆さんが地域課題を共有し、解決しようとする新たな取組みが生まれるなど、地域の活性化にも大きな効果がありました。これらを評価し「活性化運行」へと移行します。

○「コウノトリ但馬空港」の利用促進

平成23年度以降、冬季ダイヤの午後便が、夏季ダイヤより2時間程度繰り上げられ、利便性が低下。しかし、要望の結果、本年度の冬季ダイヤは、夏季同様のダイヤで運航されることに決定しました。県は「コウノトリ但馬空港利活用検討会議」を設置し、東京直行便や空港施設の多面的利用などを検討し、具体的な方策をまとめます。

○全国町並みゼミ豊岡大会の「プレゼミ開催

全国町並みゼミは、歴史的な集落や町並みで、歴史を活かしたまちづくりに取り組んでいる全国の地元団体と、その活動を支援する個人で構成される特定非営利法人「全国町並み保存連盟」が毎年行っている事業です。

4月に、地元団体等が中心となって豊岡大会実行委員会を設立し、開催準備を進めています。

来年の豊岡大会に先立ち、9月にプレゼミ大会が市役所で開催されます。

■未来を拓く人を育てまちな

○「子ども・子育て支援新制度」

来年4月から実施される「子ども・子育て支援新制度」に合わせ、「子ども・子育て支援事業計画」を本年度中に策定します。

新制度の実施に当たり、創設される施設型給付・地域保育型給付制度と放課後児童健全育成事業を適正に運営するため、各施設や事業設備・運営に関する基準等を定める四つの条例案を提出しています。

○いじめ防止対策

「いじめ防止対策推進法」で、各市町には、いじめ防止等のために必要な措置を講じる責務が定められました。

これを受け、教育委員会付属機関として、常設で「豊岡市いじめ防止対策委員会」を、重大事態発生時には、事実関係を調査する第三者機関として「豊岡市いじめ調査委員会」を設置することとし、関係条例案を提出しています。

■人生を楽しむ お互いを支え合うまち

○西気地区公民館の整備

市は、地元との協議を経て、旧西気小学校の特別教室棟を活用して西気地区公民館を整備する計画を立て、昨年度に実施設計を行いました。

しかし、地元から普通教室棟が耐震化等で相当の改修を要し、旧校舎全体を地域活性化の拠点とする展開が困難なため、整備計画を見直してほしいという要望があり、計画を再検討することとなりました。

○子どもたちが豊岡で

世界と出会う音楽祭

世界的な音楽芸術と触れ合う機会を通じて、豊岡に居な

がら世界とつながることができ、そんな豊岡のまちを誇りに思う子どもを育くみ、「音楽があふれるまち」をつくることを目指して開催します。

ヴァイオリンなどの弦楽器修復の第一人者である、朝来市出身の中澤宗幸さんの協力で、フランス・リスト国際ピアノコンクールやベートーベン国際ピアノコンクール等で優勝したヘンリー・シーグフリードソンさんなどの著名な演奏家のほか、バツハ国際コンクールで優勝した岡本誠司さんなど、今世界で活躍し、最も注目されている日本の若手ヴァイオリニストを招きます。

○城崎国際アートセンター

6月の「日本劇作家大会2014豊岡大会」後、アーティストの滞在制作は本格化し、海外のアーティストも続々と来られています。来年度も、海外からの7件を含む15件の応募があります。

しかし、30年が経過した設備の不具合が表面化し、早急に改修する必要が生じてきました。そこで、施設の機能強化と将来の維持管理費の軽減を図るため、給排水管の改修、トイレの洋式化、館内照明の

LED化などの補正予算を提出しています。

■市政の運営

○コウノトリ豊岡寄付金

本市では、「ふるさと納税」を「コウノトリ豊岡寄付金」という名称で寄付募集してきました。これをより一層推進するため①インターネットを活用したPR②市の特産品等の特典の追加③クレジットカード決済による寄付方法の導入に取り組みます。

○新市誕生10周年記念・市民公募事業

来年度、新豊岡市が誕生して10周年を迎えます。これに合わせ、市民の皆さんが考え、実施する10周年にふさわしいイベントを募集します。審査後、事業費の一部を補助します。今年中にイベントを募集して決定するため、債務負担行為の予算を提出しています。

○豊岡市名誉市民条例

同条例案検討委員会の検討結果を踏まえ、公共の福祉の増進または文化の興隆に寄与し、その功績が卓絶な方に名誉市民の称号を贈り、その栄誉を顕彰する条例案を提出します。